



ウェイトリフティング 前田 魁 スナッチ優勝！

ウェイトリフティング、成年男子56kg級に、平成28年度高校総体の覇者であり、今年の全日本選手権で、大学2年生ながらスナッチ3位になっている前田 魁選手(九州国際大)が満を持して登場。スナッチ競技では、見事、実力を発揮し優勝。また、クリーン&ジャークでは6位と競技得点11点を稼いだ。肩のケガが完全に回復していない状態の前田選手。「来年は完全優勝だろう」と、高校時の教え子に語ったのは県連盟守副会長。(県体協競技力向上委員長) **2020東京オリンピックや2024パリオリンピックも現実味を帯びてきた。**

バスケットボール 成年男女 **ダブル準優勝！**

成年男女が快挙を成し遂げた。

成年男子決勝戦は、地元の中学生の大声援を受ける中、1点リードで前半を折り返したが、第3・第4Qに入り、秋田県がジリジリと本県を引き離し、惜しくも準優勝の結果に終わった。実業団(JR東日本)中心の秋田県に対し、**大学生を含むTEAM FUKUOKAの粘り**に健闘を称えたい。

成年女子決勝戦は、熊本県との九州対決。

九州ブロック国体でも敗れているだけに、雪辱を果たしたい戦い。熊本県は、鶴屋百貨店中心の社会人チーム。息の合ったプレーで確実に得点を重ねていく。成年男子同様、1点リードで前半を折り返す好ゲームを展開するも、後半に入り、一瞬の隙にリバウンドを取られ、点差を広げられていく。オールコートの仕事から福岡県の流れをつくるが万事休す、惜しくも準優勝となった。

しかしながら、輝きを見せた成年女子チームに心から祝福を送りたい！

少年男子は、千葉県に勝ち決勝進出を決めた。成年男子と成年女子の無念を晴らすべく、決勝戦に期待したい！



【成年女子チーム】



【成年男子チーム】

ラグビー 少年男子準優勝！女子 3位！



【ラグビー女子チーム】

4日、昨年の覇者ラグビー女子チームが、準決勝で惜しくも大阪府(最終的には本年度の優勝チーム)に敗れた。

悔いる間もなく、3位決定戦では、対山口県戦へ臨む。準決勝の敗戦をどう活かすか、どう気持ちを切り替えるかがカギとなった。

チームスタッフの献身的なサポートや、選手同士の声かけにより、選手は気持ちを切り替え、最後の戦いへと臨んだ。

南主将が、チームメイトに声かけを行い、全員を鼓舞した結果、試合は24-12で勝利。福岡県の攻撃ラグビーが山口県を圧倒した。試合後、平野監督は、「**攻撃的なプレーができた。今大会**

の出場チームの中では、平均年齢が18歳と一番若いチーム。今後は凄く楽しみだ」とコメント。

2年連続優勝という偉業は達成できなかったが、世代交代中のチームの未来は明るい。

この試合でトライを決めた福岡県タレント発掘事業修了生の松尾綺子選手(日本体育大学)は、「**タレント発掘事業のおかげで、ラグビーと出会い、今、ラグビーができる幸せを感じている**」と感謝の言葉を述べた。

また、少年男子決勝は、順当に勝ち上がった福岡県(選抜)が、奈良県(御所実業高校)と対戦。前半はリードして折り返したが、後半に逆転を許し、準優勝という結果となった。

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係